

自ら運動に親しもうとする資質や向上心の育成

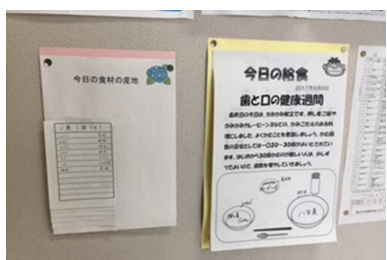


写真1【食育】

体力を高めたり、体の調子を整えたい時（体育祭の時期）や世界の国の食事を紹介する機会を設けながら、生徒に食事の大切さを伝えている。



写真2【啓発講演会の開催】

自己と他者を認め、お互いにより良い人間関係を構築するために大切な言葉の選択、自己の考え方や実践方法を学ぶ機会を年度当初に実施している。



写真3【部活動の活躍を紹介】

各部活動の活動を紹介する掲示版を作成し、広く全校生徒に周知している。生徒同士の活躍を認め合うことのでき、他者理解にも繋がっている。



写真4【連合運動行事への参加】

積極的に連合運動行事へ参加し、生徒が運動に親しむ機会を多く設定している。他者との協力や協調性を学ぶとともに、目標に向かい努力する姿勢を育てている。



写真5【緑野チャンピオンシップ】

全運動部活動と参加希望者を対象とした学校独自の体力テストを実施し、運動に親しむ資質や能力を育むとともに、自己の体力の向上や課題に対して目を向けられる機会を設けている。



写真6【アスリートによる講演会】

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、トップアスリートを招き講演会を開催し、「諦めないことの大切さ」「夢や目標をもつことの大切さ」「東京五輪に向けた意識の熟成」等を学んでいる。